



2016年4月11日

各位

会社名 小野薬品工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 相良 暁  
(コード:4528 東証第一部)  
問合せ先 広報部長 谷 幸雄  
(TEL:06-6263-5670)

### 抗悪性腫瘍剤「オプジーボ点滴静注<sup>®</sup>20mg、100mg」の 平成28年3月期売上実績および平成29年3月期売上予想について

小野薬品工業株式会社(本社:大阪市中央区、代表取締役社長:相良暁、以下「当社」)は、ヒト型抗ヒトPD-1 (programmed cell death-1)モノクローナル抗体「オプジーボ<sup>®</sup>点滴静注 20mg、100mg」(以下、オプジーボ)に関する平成28年3月期売上実績および平成29年3月期売上予想についてお知らせします。

オプジーボは、世界初のヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体として、2014年7月4日に「根治切除不能な悪性黒色腫」を効能・効果として、日本で製造販売承認され、2015年12月17日に「切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌」に対する効能・効果について追加承認されました。

オプジーボの平成28年3月期の売上高予想については、期初においては効能・効果が悪性黒色腫のみであったため、35億円としていました。そして、平成28年3月期第2四半期決算短信(2015年11月4日発表)において、通期売上高予想を55億円に修正しました。さらに、2015年12月の「切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌」に対する効能・効果追加承認を踏まえて、平成28年3月期第3四半期決算短信(2016年2月2日発表)において、前回予想から120億円増額し175億円の修正予想を発表しましたが、平成28年3月期の売上高は修正予想を上回る結果となりました。

以上のようなオプジーボの売上動向を踏まえ、平成28年3月期決算発表に先立ち、平成29年3月期におけるオプジーボの売上予想についてお知らせします。

なお、平成28年3月期決算および平成29年3月期の連結業績予想については、平成28年5月11日発表予定の平成28年3月期決算短信[IFRS](連結)で公表します。

#### ■抗悪性腫瘍剤「オプジーボ」の平成28年度売上高予想

[平成28年3月期実績(2015年4月～2016年3月)および平成29年3月期予想(2016年4月～2017年3月)]

(単位:百万円)

	売上高
平成28年3月期修正予想(2016年2月2日発表)	17,500
平成28年3月期実績	21,200
平成29年3月期予想	126,000

(注)仕切価格(出荷価格)ベースでの売上高となります。

(参考1) 悪性黒色腫および非小細胞肺癌における推定使用患者数(累計)の推移

	悪性黒色腫+非小細胞肺癌
2015年12月末時点	1,357名
2016年1月末時点	2,063名
2016年2月末時点	3,483名
2016年3月末時点	4,888名

※全例調査登録時の使用予定日より算出

(参考2) 平成28年度における推定新規使用患者数

	悪性黒色腫	非小細胞肺癌
推定新規使用患者数 (2016年4月~2017年3月)	450名	15,000名

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上